「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」にかかる取組状況について　～2023年度～

ちば興銀

金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」と取組方針の対応関係

当行は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」（以下、金融庁原則という）を採択し、取組方針を定め、本方針に基づく取組状況を分かりやすくご確認いただけるよう成果指標（ＫＰＩ）を公表いたします。
当行の取組方針の項目と、金融庁原則の対応関係は以下のとおりとなります。

取組方針	金融庁原則
１．お客さまニーズに適した商品ラインアップの構築	原則６　顧客にふさわしいサービスの提供
２．お客さまへのコンサルティングを通じた投資商品の提供	原則２　顧客の最善の利益の追求 原則３　利益相反の適切な管理 原則４　手数料等の明確化 原則５　重要な情報の分かりやすい提供 原則６　顧客にふさわしいサービスの提供 原則７　従業員に対する適切な動機づけの枠組み等
３．お客さまそれぞれのゴールの実現に向けたアフターフォローの実施	原則２　顧客の最善の利益の追求 原則５　重要な情報の分かりやすい提供 原則６　顧客にふさわしいサービスの提供
４．お客さまが安心して安定的な資産形成を実現するための基盤の構築	原則２　顧客の最善の利益の追求 原則６　顧客にふさわしいサービスの提供 原則７　従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

取組方針１．お客さまニーズに適した商品ラインアップの構築

※金融庁原則６に対応

＜お客さまの多様なニーズに応える商品ラインアップの整備＞ ※

■お客さまの資産運用に関する多様なニーズにお応えできるよう、商品ラインアップをご用意しております。

※当行は金融商品の組成に携わっていないことから、金融庁原則６（注３）に該当する項目はございません。

●商品ラインアップ（2024年3月末）

投資信託

カテゴリー	商品数	比率
国内債券	3	2.8%
国内株式	17	15.6%
国内リート	5	4.6%
海外債券	15	13.8%
海外株式※1	44	40.4%
海外リート	8	7.3%
バランス型	14	12.8%
その他	3	2.7%
合計	109	100.0%
うちノーロード	23	21.1%

※1 国内外の株式に投資する商品は「海外株式」に含む

生命保険（一時払商品）

カテゴリー		商品数	比率
円建		9	36.0%
	定額年金	2	8.0%
	変額年金	0	0.0%
	定額終身※2	6	24.0%
	変額終身	0	0.0%
	介護終身	1	4.0%
外貨建		16	64.0%
	定額年金・養老保険	3	12.0%
	変額年金	0	0.0%
	定額終身※2	12	48.0%
	変額終身	0	0.0%
	介護終身	1	4.0%
合計		25	100.0%

※2 介護プラン選択型の商品は「定額終身」に含む

生命保険（平準払商品）

カテゴリー	商品数	比率
年金・養老保険	3	16.7%
終身保険※3	3	16.7%
収入保障・就業不能保険	2	11.1%
医療保険	5	27.8%
がん保険	3	16.7%
学資保険	1	5.5%
介護保険	1	5.5%
合計	18	100.0%

※3 介護プラン選択型の商品は「終身保険」に含む

＜投資信託の販売額上位10銘柄＞

■お客さまの多様なニーズに応じて、資産運用のサポートに取り組んでいます。

●投資信託販売額上位10銘柄（2023年4月～2024年3月末）

順位	商品名	運用会社名	カテゴリー	決算頻度
1	日経平均高配当利回り株ﾌｧﾝﾄﾞ	三菱UFJアセットマネジメント	国内株式	年2回
2	ひふみマイクロスコープpro	レオス・キャピタルワークス	国内株式	年1回
3	ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞNASDAQ100（アメリカ株式）	日興アセットマネジメント	海外株式	年1回
4	ひふみワールド＋	レオス・キャピタルワークス	海外株式	年1回
5	ひふみプラス	レオス・キャピタルワークス	海外株式	年1回
6	netWIN GS ﾃｸﾉﾛｼﾞｰ株式ﾌｧﾝﾄﾞBｺｰｽ（為替ﾍｯｼﾞなし）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	海外株式	年2回
7	ニッセイ・AI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）	ニッセイアセットマネジメント	海外株式	年1回
8	野村ｲﾝﾃﾞｯｸｽﾌｧﾝﾄﾞ・米国株式配当貴族	野村アセットマネジメント	海外株式	年1回
9	ﾆｯｾｲ・ﾒﾀﾊﾞｰｽﾜｰﾙﾄﾞ（予想分配金提示型）	ニッセイアセットマネジメント	海外株式	年12回
10	GS ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社債ﾀｰｹﾞｯﾄ2023-06（限定追加型）	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント	海外債券	年1回

取組方針２．お客さまへのコンサルティングを通じた投資商品の提供

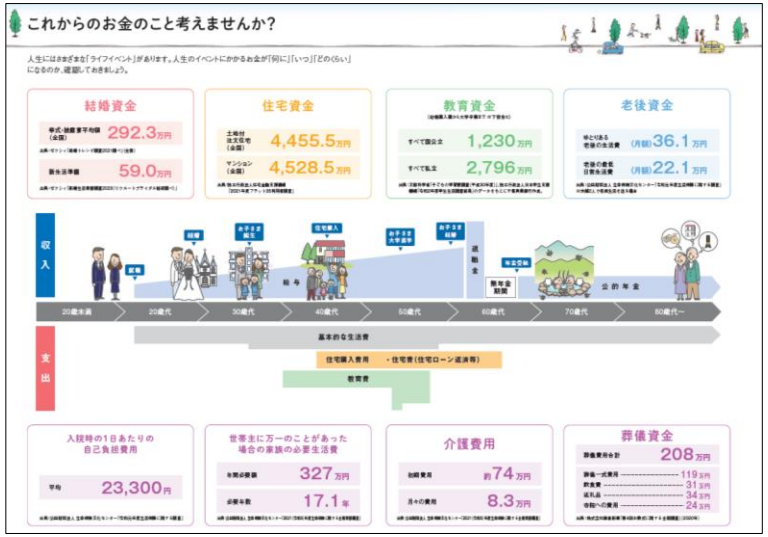
※金融庁原則２・３・４・５・６・７に対応

＜コンサルティングの実践と分かりやすい情報提供＞

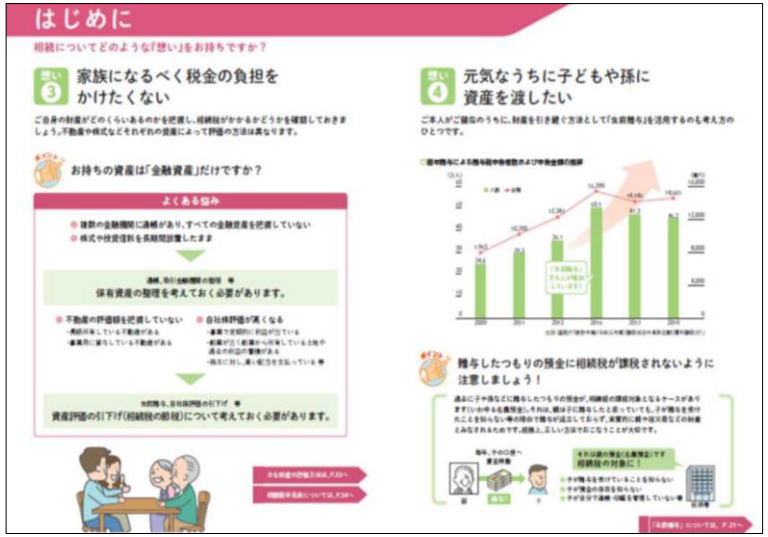
■「ライフプランハンドブック」や「相続について考える本」等を作成して、お客さまへの分かりやすい情報提供に努めております。
■また、「ライフプランシミュレーション」等、デジタルを活用して、お客さま一人ひとりのライフプランに沿ったご提案に取り組んでおります。

●資料等の見本

「ライフプランハンドブック」



「相続について考える本」



「ライフプランシミュレーション」

＜重要な情報の提供＞

■重要な各種情報を比較検討しやすくするため、金融事業者の取扱商品等の情報を提供する「重要情報シート（金融事業者編）」、金融商品の運用実績や費用の情報を提供する「重要情報シート（個別商品編）」を導入しております。
■また、各商品の特徴をより容易に理解・比較できるよう、「ちば興銀の資産運用サービスのご案内」を新たに作成しました。
■これらとともに、投資信託の「交付目論見書」、生命保険の「契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）兼 商品パンフレット」等によって、お客さまにご負担いただく諸費用等のご説明を行っております。

●「重要情報シート」見本

金融事業者編

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る
重要情報シート（金融事業者編）
株式会社 千葉興業銀行

1．当行の基本情報（当行はお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です）

社名	株式会社　千葉興業銀行
登録番号	関東財務局長（登金）第40号
加入協会	日本証券業協会
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.chibakogyo-bank.co.jp/

2．取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円貨預金（投資性なし）	○	預金（投資性あり）	○
国内株式	×	外国株式	×
円建債券	○ ※1	外貨建債券	○ ※2
特殊な債権（仕組債等）	○ ※3	投資信託	○
ファンドラップ	○ ※4	ETF、ETN	×
REIT	×	その他の上場商品	×
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
上記以外の商品等	NISA（少額投資非課税制度）、iDeCo（個人型確定拠出年金）等も取扱しております。		

※1 国債、地方債、政府保証債　※2 大和証券、みずほ証券での取扱い
※3 みずほ証券での取扱い　※4 大和証券での取扱い

3．商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- 当行が策定・公表する「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」に基づき、お客さまのニーズや利益に真に適う商品を提供してまいります。
- お客さまの投資視点に基づき、安定的な資産形成に資する商品の採用、および既存商品の見直しを徹底します。
- 中長期的な投資視点等、お客さまニーズに沿った質の高い商品ラインアップの維持に向け、商品導入・改廃を行ってまいります。

4．苦情・相談窓口

当行お客さま相談窓口	お客さまサービス部 平日09:00～17:00	043-243-2111（代）
加入協会等共通の相談窓口	全国銀行協会相談室 平日09:00～17:00	0570-017109　または 03-5252-3772
	証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC） 平日09:00～17:00	0120-64-5005
	生命保険協会　生命保険相談所 平日09:00～17:00	03-3286-2648
金融庁金融サービス利用者相談室	平日10:00～17:00	0570-016811　または 03-5251-6811

（2022年4月1日現在）

個別商品編※

使用開始日｜2023年4月3日

一定の投資性金融商品の販売に係る
「重要情報シート」（個別商品編）ダイワファンドラップ

1 商品等の紹介

金融商品の名称・種類	ダイワファンドラップ
組成会社（運用会社）	大和証券株式会社
販売委託元	大和証券株式会社
金融商品の目的・機能	投資一任契約※に基づいて、お客さまに適した運用スタイルの選定、売買執行、定期的な報告等を包括的にご提供する資産運用サービスです。ヒアリングシートを通じてお客さまの投資に対するお考えをお伺いすることにより、お客さまに適したリスク・リターン水準を判定し、それに見合ったポートフォリオによる国際分散投資の運用スタイルをご提案します。お客さまに代わって大和証券が運用を行なうため、ご自身で行なう分散投資に比べて、資産運用にかかる手間や時間が軽減できます。※投資一任契約とは、お客さまが投資運用業者に株式や債券などの有価証券の価値等の分析に基づく投資判断の全部または一部を一任し、この投資判断に基づく売買発注等の投資に必要な権限を委任する契約のことです。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	お客さまごとの運用目的に沿って運用計画を作成するサービスであり、年齢等に捉われず、さまざまなお客さまにご利用いただけるサービスです。幅広いリスク水準のポートフォリオを用意しており、安定的な運用をお望みのお客さまから、積極的な運用をお望みのお客さままで、幅広くご利用いただけます。
パッケージ化の有無	複数の投資信託を組み合わせて運用するサービスです。これらの投資信託を個別の商品として購入することはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

このようなご質問があれば、お問合わせください。
❶あなたの会社が提供する商品のうち、この商品が、私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らして、ふさわしいという根拠は何か。
❷この商品を購入した場合、どのようなフォローアップを受けることができるのか。
❸この商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがあるのか。

2 リスクと運用実績（本商品は、元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

「ダイワファンドラップ」は、投資一任契約に基づき投資信託証券を対象とした投資運用を行なう取引です。そのため、運用成績は投資対象となる投資信託の価格変動に応じて変化します。したがって、契約資産の額（元本）が保証されるものではなく、これを割込むことがあります。また、運用による損益は、すべて投資者としてのお客さまに帰属します。投資対象となる投資信託は、主として、国内外の株式、債券、リート（REIT）、コモディティ（商品先物取引等）、株式先物等派生商品、およびこれらを実質的な投資対象とする複数の投資信託証券等に投資しますので、その基準価額はこれら実質的な投資対象の価格などに応じて大きく変動します。詳細は投資信託説明書（交付目論見書）をご参照ください。

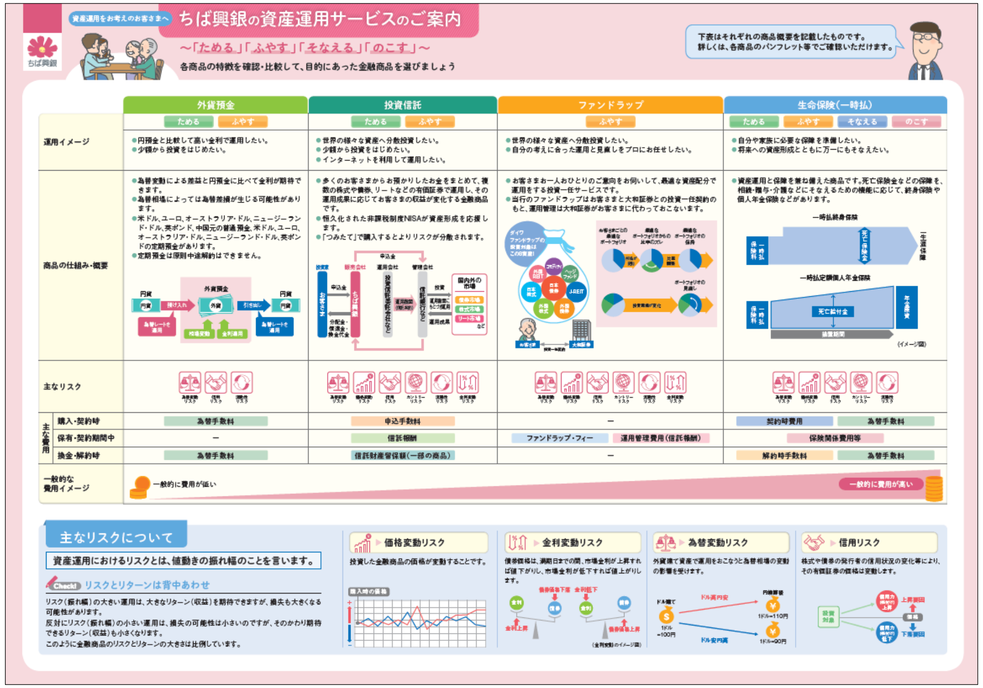
過去1年間および5年間の収益率

	1年間	5年間 平均	最高（時期）		最低（時期）	
安定	1.0%	3.3%	18.4%	(2021/03末)	-7.0%	(2020/03末)
やや安定	1.7%	4.5%	23.7%	(2021/03末)	-8.2%	(2018/12末)
バランス	2.4%	5.7%	29.3%	(2021/03末)	-9.4%	(2018/12末)
やや積極	3.2%	6.7%	34.9%	(2021/03末)	-10.8%	(2018/12末)
積極	3.7%	8.0%	41.1%	(2021/03末)	-12.0%	(2018/12末)

このようなご質問があれば、お問合わせください。
❹上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
❺相対的にリスクが低い類似商品はあるのか。あればその商品について説明してほしい。

次ページも必ずご覧ください▶

●「ちば興銀の資産運用サービスのご案内」見本



※個別商品編には、当該商品のパッケージ化の有無を記載しており、パッケージ化商品に該当する場合、「個別の商品として購入することができる（またはできない）旨」を記載しております。また、当該商品の「商品組成に携わる事業者が想定する購入層」の欄を設け、記載しております。

＜利益相反の適切な管理＞

■当行は、お客さまの利益が不当に害されることのないよう、利益相反取引の管理を行っております。

●「利益相反管理方針の概要※」抜粋

管理対象		管理方法
資産運用関連業務	当行グループが投資信託等の販売に伴って、当該投資信託等の提供会社から委託手数料等を受け取る場合	• お客さまのニーズに真に適う商品選定プロセス・合理的な手数料設定プロセス・適正な業績評価体系の構築 • 当該取引の中止　等

※全文は当行ホームページに掲載しております。（https://www.chibakogyo-bank.co.jp/other/riekisouhan.html）

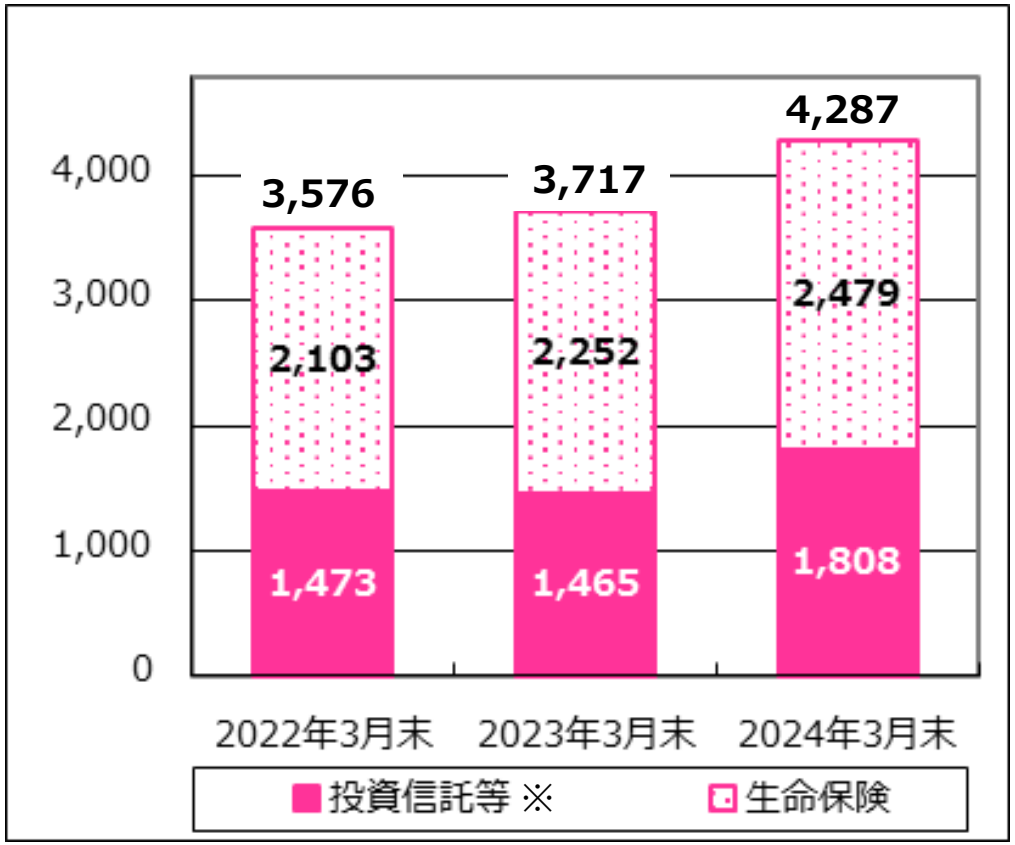
＜ご高齢のお客さまへの対応＞

■「高齢者販売規定」を定めて、ご高齢のお客さまに対し当行から勧誘することを禁止しています。
■お客さまのご要望に応じてご提案を行う場合、複数回の面談実施・親族の同席による提案実施・役席者による受注や手続完了確認等を通じて、お客さまのご意向を慎重に確認し対応するよう規定しております。

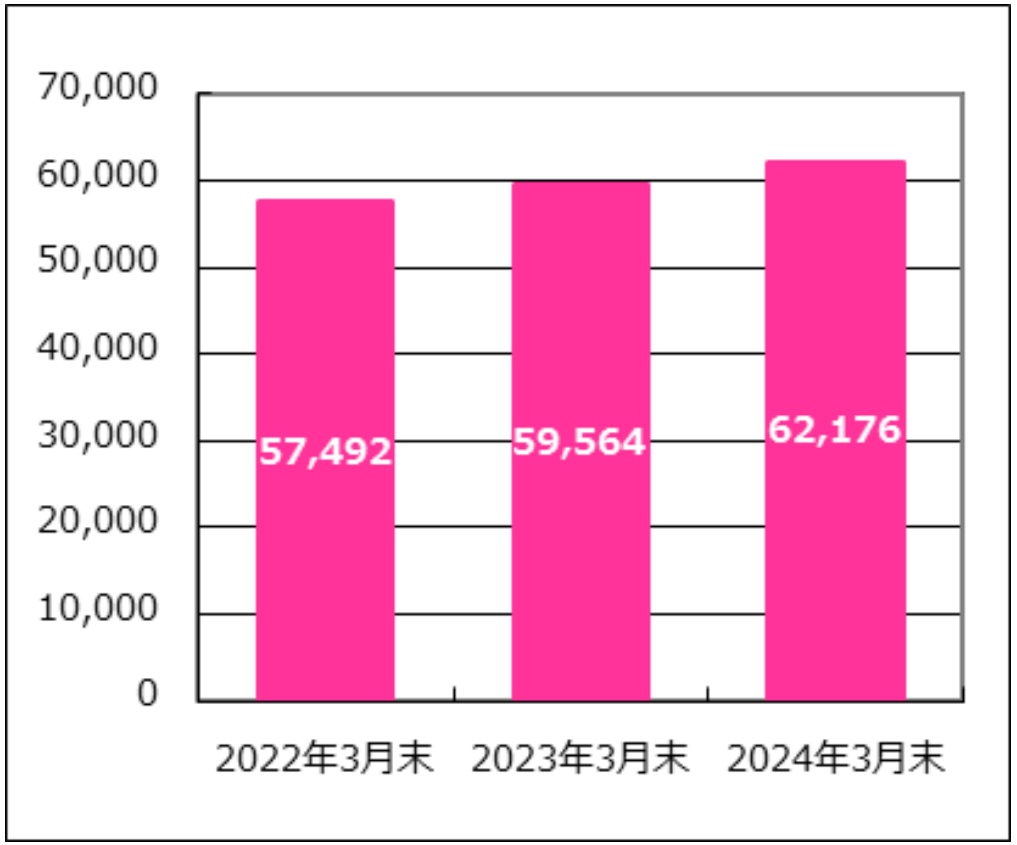
＜運用商品のお取引状況＞

■預かり資産残高は2023年3月末比+570億円、預かり資産保有者数は2023年3月末比+2,612名となりました。
今後もお客さまの資産運用のサポートに努めてまいります。

●預かり資産残高（単位：億円）



●預かり資産保有者数（単位：人）

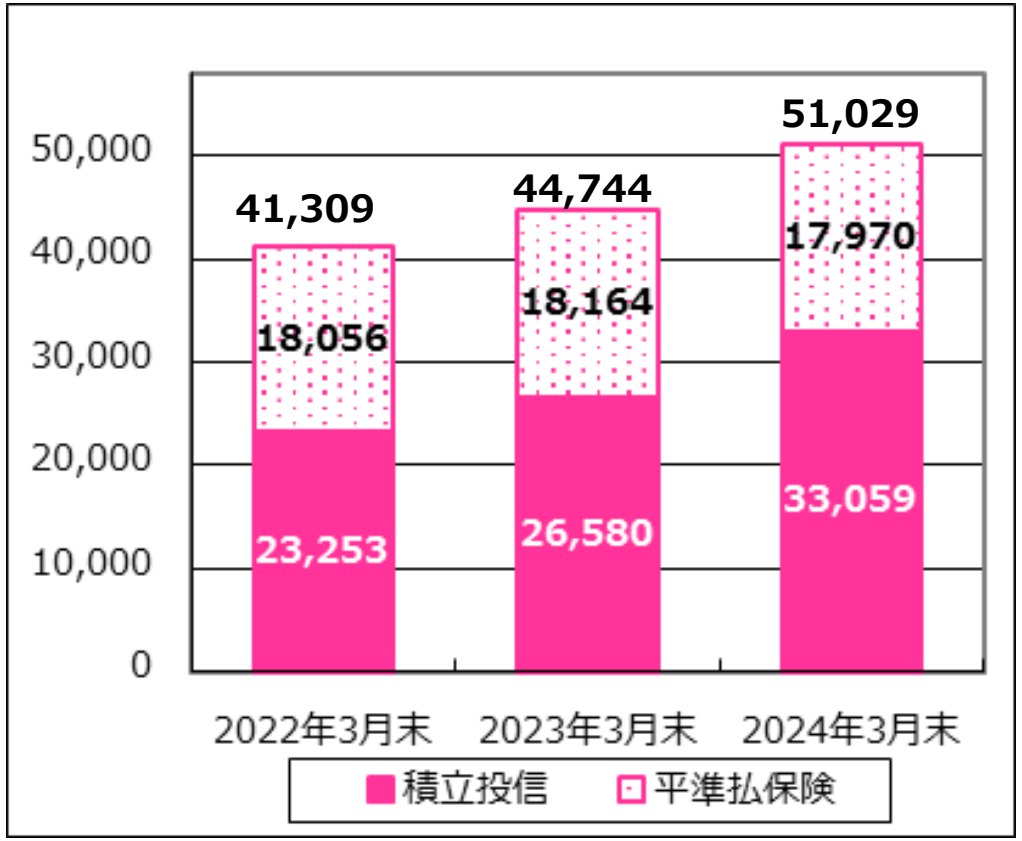


※ 投資信託は「ファンドラップ」を含む

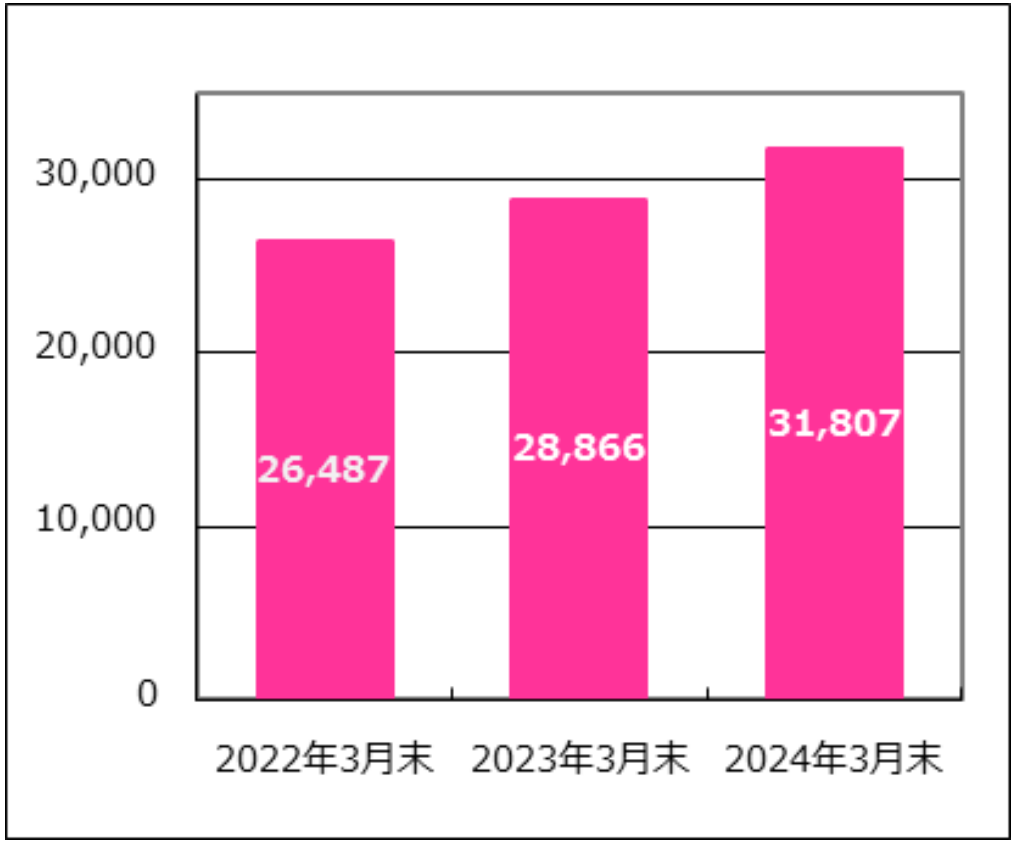
＜運用商品のお取引状況（つづき）＞

■積立商品ご契約件数は2023年3月末比+6,285件となりました。
■また、非課税投資枠を利用できる「NISA口座数」は2023年3月末比＋2,941件となりました。
今後も、お客さまの中・長期的な資産形成のサポートに努めてまいります。

●積立商品ご契約件数（単位：件）



●NISA口座数（単位：口座）



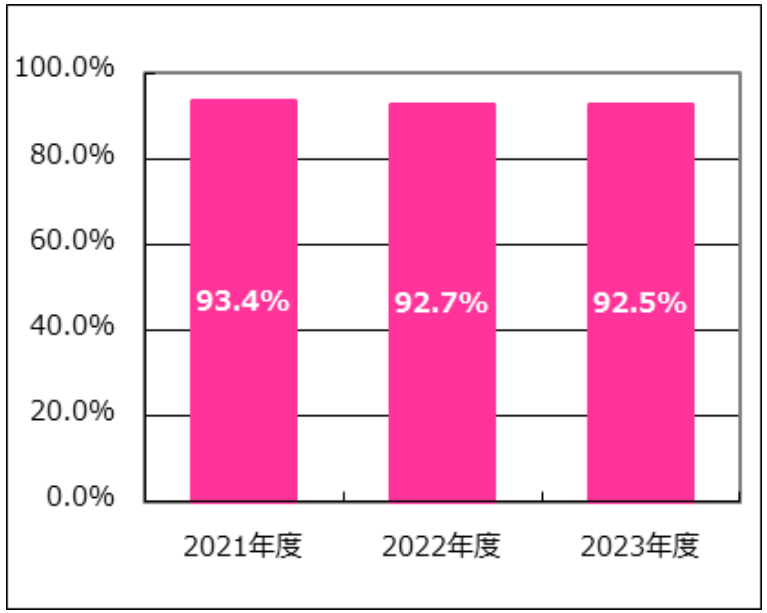
取組方針３．お客さまそれぞれのゴールの実現に向けたアフターフォローの実施

※金融庁原則２・５・６に対応

＜アフターフォロー態勢の整備・業務の堅確性向上＞

■各金融商品ごとにアフターフォローのルールを整備し、運用状況のご説明や投資方針のご確認等のアフターフォローを実施しております。
■また、NPS®調査※を通じて、お客さまの満足度等を把握し、サービスの改善に努めております。
※ NPS®調査・・・「他者への推奨意向」を測ることで、お客さまのロイヤルティを測定する指標
■合わせて、タブレット端末を導入し、お客さまの意向把握や、運用状況のご説明をより正確にできるよう対応しております。

●アフターフォロー実施率



●お客さまアンケート見本

Q１．あなたは＜ちば興銀＞を親しい友人や知人にどの程度おすすめしたいと思いますか？
下記の 0～10 点の該当する点数に○をつけてください。
※周囲に資産運用や資産管理、資産形成でお困りの方がいたと仮定してお答えください。

← 絶対にすすめない　（おすすめ度）　強くすすめる →

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

Q２．上記点数をつけられた理由を下記にご記入ください。

Q３．＜ちば興銀＞のサービスをご利用いただくうえで、以下の項目をどのように評価していますか？当てはまるものそれぞれひとつずつに○をつけてください。
※体験していないもの・知らないものについては「３：どちらとも言えない/体験していない」をお選びください。

１：不満
２：やや不満
３：どちらとも言えない/体験していない
４：やや満足
５：満足

（１）店舗の立地/広さ/設備	1	2	3	4	5
（２）駐車場の位置/広さ	1	2	3	4	5
（３）店舗の営業時間	1	2	3	4	5
（４）店舗での待ち時間	1	2	3	4	5
（５）ＡＴＭの台数/時間	1	2	3	4	5
（６）ちば興銀ダイレクト（インターネットバンキング）の利用/アクセスのしやすさ	1	2	3	4	5
（７）ちば興銀アプリの使いやすさ/デザイン	1	2	3	4	5
（８）ホームページの見やすさ（デザイン）/利用のしやすさ	1	2	3	4	5
（９）コンタクトセンター（コールセンター）への問合せのしやすさ/問題解決のスピード	1	2	3	4	5

●タブレット端末　画面見本

生命保険商品のご検討にあたり重視されるご意向について（意向把握）

【お客さまご入力画面】
ご意向の入力ができましたら【次へ】ボタンを押してください。

当行では、お客さまに保険商品のご提案をする際には、法令等の定めに基づき、お客さまのご意向に沿った保険商品のご提案が出来るよう、事前にお客さまの保険商品に関するご意向を確認させていただいております。
また、お客さまのご意向については保険商品のお申込み前に、あらためて「最終的なご意向」を確認させていただき、「最終的なご意向」が「当初のご意向」と相違している場合には、その相違が生じた経緯についてわかりやすくご説明いたします。
つきましては、以下の項目へご回答いただけますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。

ヒアリング結果	☑ 保険① ☑ 保険② ☑ 保険③ ☑ 保険（保障性等）
目的	☐ 万一の際のご遺族の生活資金準備、将来の相続に備えたい ☐ 病気、ケガやがんなどの特定疾病に関する医療費の備えなど ☐ 介護に必要な費用への備えなど ☐ 老後資金の準備 ☐ 教育資金準備 ☐ 計画的な資金準備 ☐ 将来のために資産を殖やしたい
貯蓄部分の必要性	☐ 必要（資産形成を兼ねた保障を持ちたい） ☐ 不要（必要な保障を相対的に低廉な保険料で確保したい）
払込方法	☐ 保険料を一括で支払いたい ☐ 保険料を分割で支払いたい
保障見直しの希望	☐ 希望（総合的な保障の充実）※明治安田生命との共同募集

取組方針４．お客さまが安心して安定的な資産形成を実現するための基盤の構築　※金融庁原則２・６・７に対応

＜業績評価体系の整備＞

■高い提案スキルを要するご相談にも意欲的に取り組むよう、コンサルティングの実践を重視した業績評価体系を整備しております。
■業績評価体系は、世の中の変化に応じて求められるニーズや、コンサルティング等を分析する中で、継続的に見直しを図っております。

＜お客さま向けセミナーの開催＞

■お客さまに資産運用に関する理解を深めていただけるよう、「営業店開催セミナー」「職域先セミナー」を実施しております。
■引き続き、お客さまのお役に立てる資産運用の情報発信に努めてまいります。

●お客さま向けセミナー・相談会開催回数

	2023年度
開催数	1,054回

●セミナー・相談会テーマ一例

- 「家計の総合見直し」保険相談会
- iDeCo・NISAのしくみ～未来のための資産形成～
- 豊かな人生「100年時代」を迎えるために

など

●お客さま向けセミナー資料等　見本

＜外部資格の保有者数＞

■お客さまへの提案力向上のため、資格取得の推奨等を通じた人材育成に取り組んでおります。
■FP2級以上（含むCFP・AFP）の資格保有者数は2024年3月末現在、836名となりました。

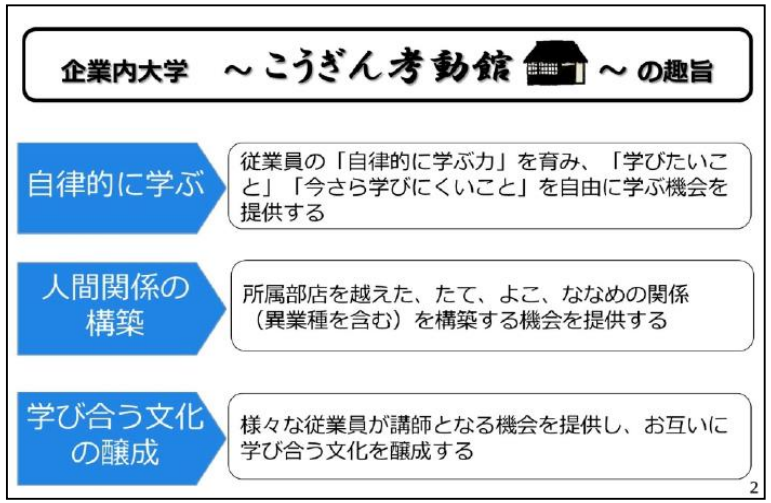
●外部資格（FP1級・FP2級・CFP・AFP）の保有者数

2022年3月末	2023年3月末	2024年3月末
805名	826名	836名

＜企業文化の定着・高い専門性をもつ人材の育成＞

■お客さま本位の業務運営を定着させ、良質なサービスを提供するために、従業員に対し各種研修を行っております。
■また、「企業内大学 こうぎん考動館」等のオンライン研修や動画コンテンツでの自己啓発環境を整備しております。
■研修施設「幕張学問所」では、採用活動や従業員研修、異業種交流等の拠点として活用し、従業員の能力開発を行っております。

●企業内大学 こうぎん考動館　見本



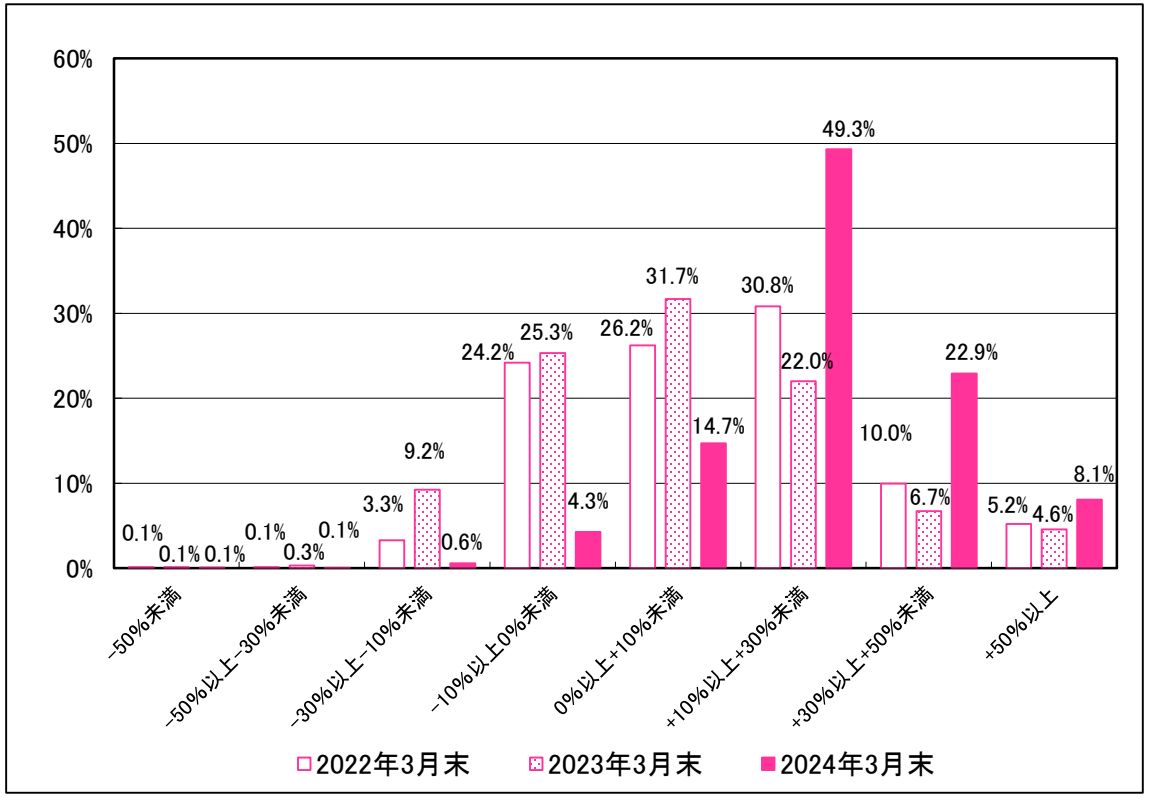
●研修施設「幕張学問所」

投資信託の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ

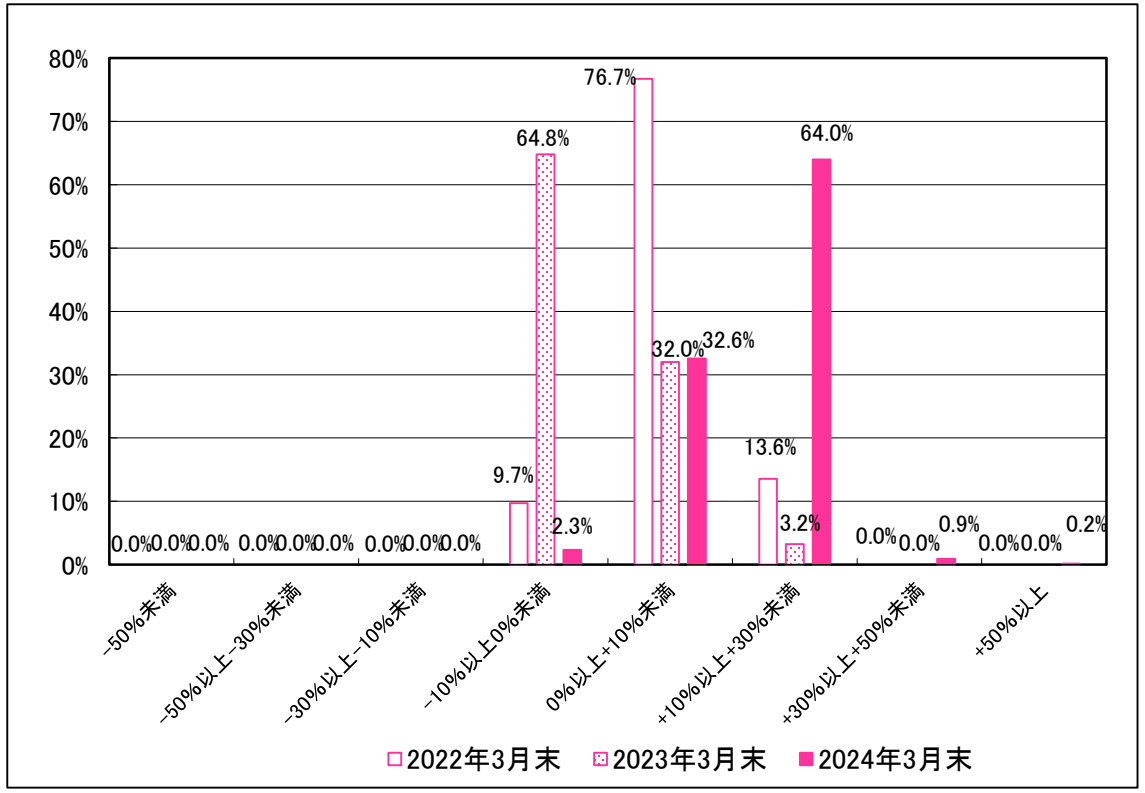
（1）運用損益別顧客比率（2024年3月末）

■投資信託において、運用損益がプラスのお客さまの割合は95.0%となりました。
■ファンドラップにおいて、運用損益がプラスのお客さまの割合は97.7%となりました。
■引き続き、長期分散投資を軸としたお客さま本位の運用提案に努めてまいります。

●投資信託の運用損益別顧客比率

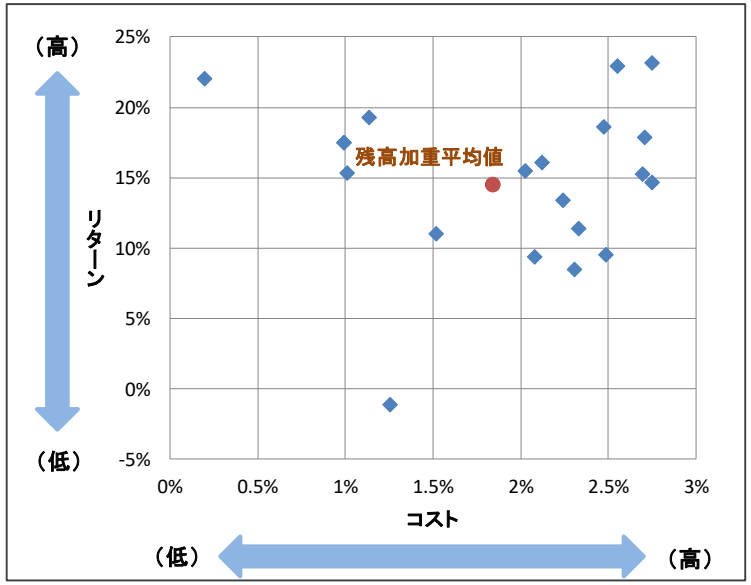


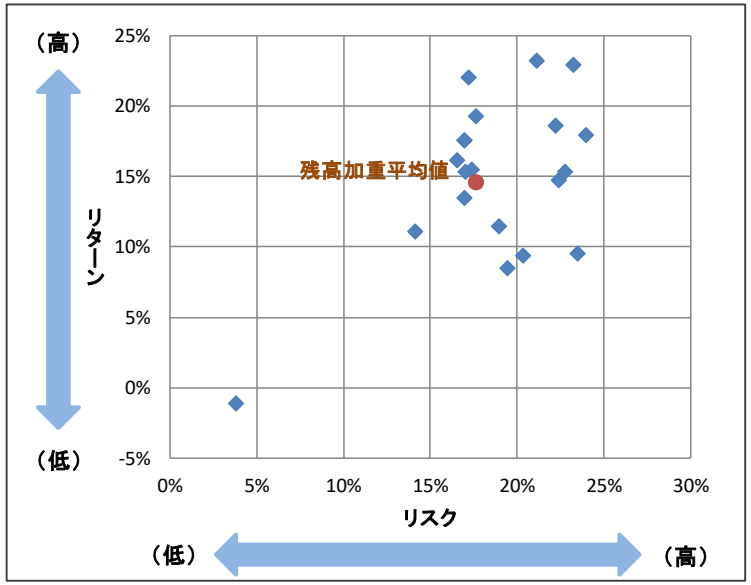
●ファンドラップの運用損益別顧客比率



（2）投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン（2024年3月末）

■投資信託預かり残高上位20銘柄の平均コストは1.84%、平均リスクは17.64%、平均リターンは14.57%となりました。
■引き続き、コスト、リスクに見合った、安定的にリターンを得られる商品の提案に努めてまいります。





残高加重平均	コスト	リターン
	1.84%	14.57%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.64%	14.57%

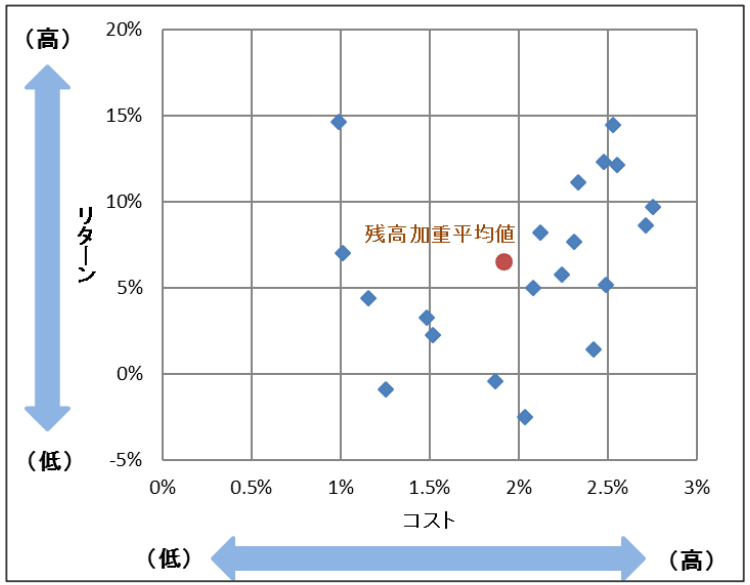
※2024年3月末時点で設定期間5年以上のファンドのみに限った預かり資産残高上位20銘柄
※コスト：販売手数料率/5＋信託報酬率
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

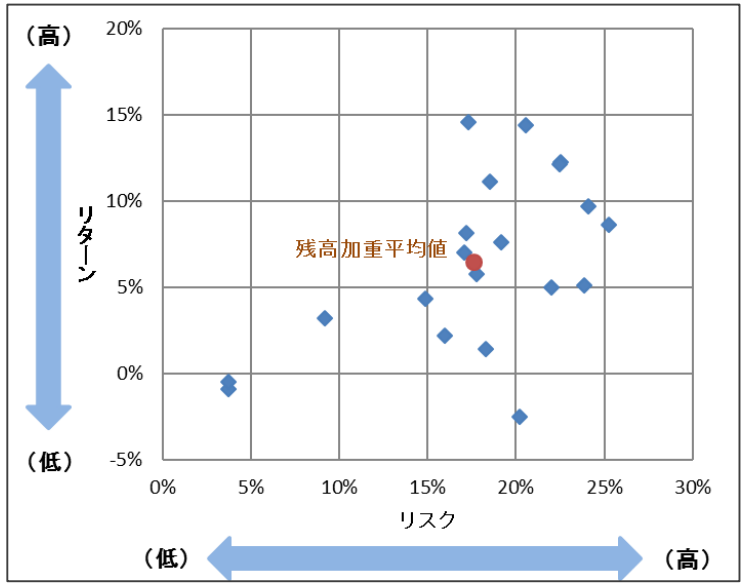
●投資信託預かり残高上位20銘柄

	銘柄名
1	ひふみプラス
2	日経平均高配当利回り株ファンド
3	GS 日本フォーカス・グロース 毎月決算コース
4	ダイワ・US－REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）
5	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（年2回決算型・為替ヘッジなし）
6	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族
7	明治安田米国中小型成長株式ファンド
8	ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）
9	SBI中小型成長株ファンド　ジェイネクスト（年2回決算型）
10	netWIN GSテクノロジー株式ファンド Bコース（為替ヘッジなし）
11	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）
12	インデックスファンド225
13	高成長インド・中型株式ファンド
14	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）
15	ロボット・テクノロジー関連株ファンド －ロボテック－
16	iFree S＆P500インデックス
17	スパークス・新・国際優良日本株ファンド
18	米国株式配当貴族（年4回決算型）
19	ハリス世界株ファンド（毎月決算型）
20	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）

（参考）投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン（2023年3月末）

平均コスト1.91%　平均リスク17.60%　平均リターン6.52%





残高加重平均	コスト	リターン
	1.91%	6.52%

残高加重平均	リスク	リターン
	17.60%	6.52%

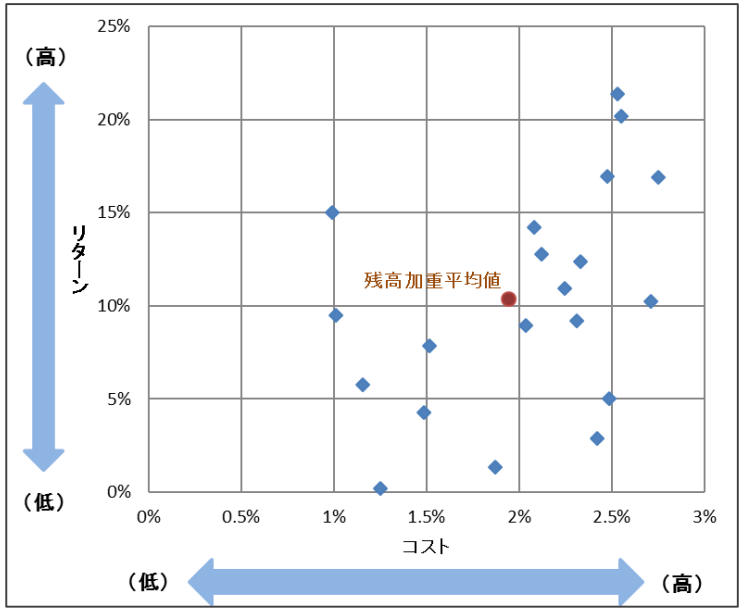
※2023年3月末時点で設定期間5年以上のファンドのみに限った預かり資産残高上位20銘柄
※コスト：販売手数料率/5＋信託報酬率
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

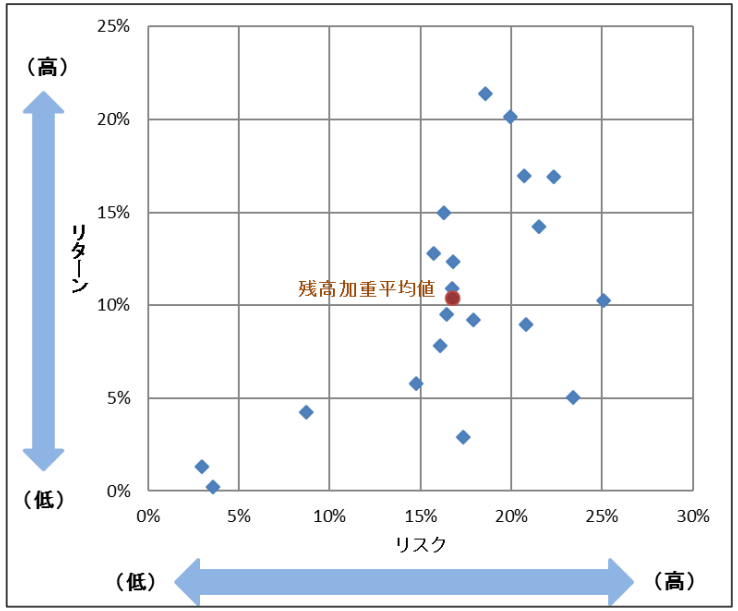
●投資信託預かり残高上位20銘柄

	銘柄名
1	ひふみプラス
2	GS 日本フォーカス・グロース 毎月決算コース
3	ダイワ・US－REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）
4	明治安田米国中小型成長株式ファンド
5	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族
6	SBI中小型成長株ファンド　ジェイネクスト（年2回決算型）
7	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）
8	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）
9	インデックスファンド225
10	ロボット・テクノロジー関連株ファンド －ロボテック－
11	米国成長株式ファンド
12	スパークス・新・国際優良日本株ファンド
13	高成長インド・中型株式ファンド
14	ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）
15	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）
16	投資のソムリエ
17	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）
18	新光J－REITオープン
19	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型
20	女性活躍応援ファンド

（参考）投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン、リスク・リターン（2022年3月末）

平均コスト1.94%、平均リスク16.75%、平均リターン10.36%





残高加重平均	コスト	リターン
	1.94%	10.36%

残高加重平均	リスク	リターン
	16.75%	10.36%

※2022年3月末時点で設定期間5年以上のファンドのみに限った預かり資産残高上位20銘柄
※コスト：販売手数料率/5＋信託報酬率
※リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）

●投資信託預かり残高上位20銘柄

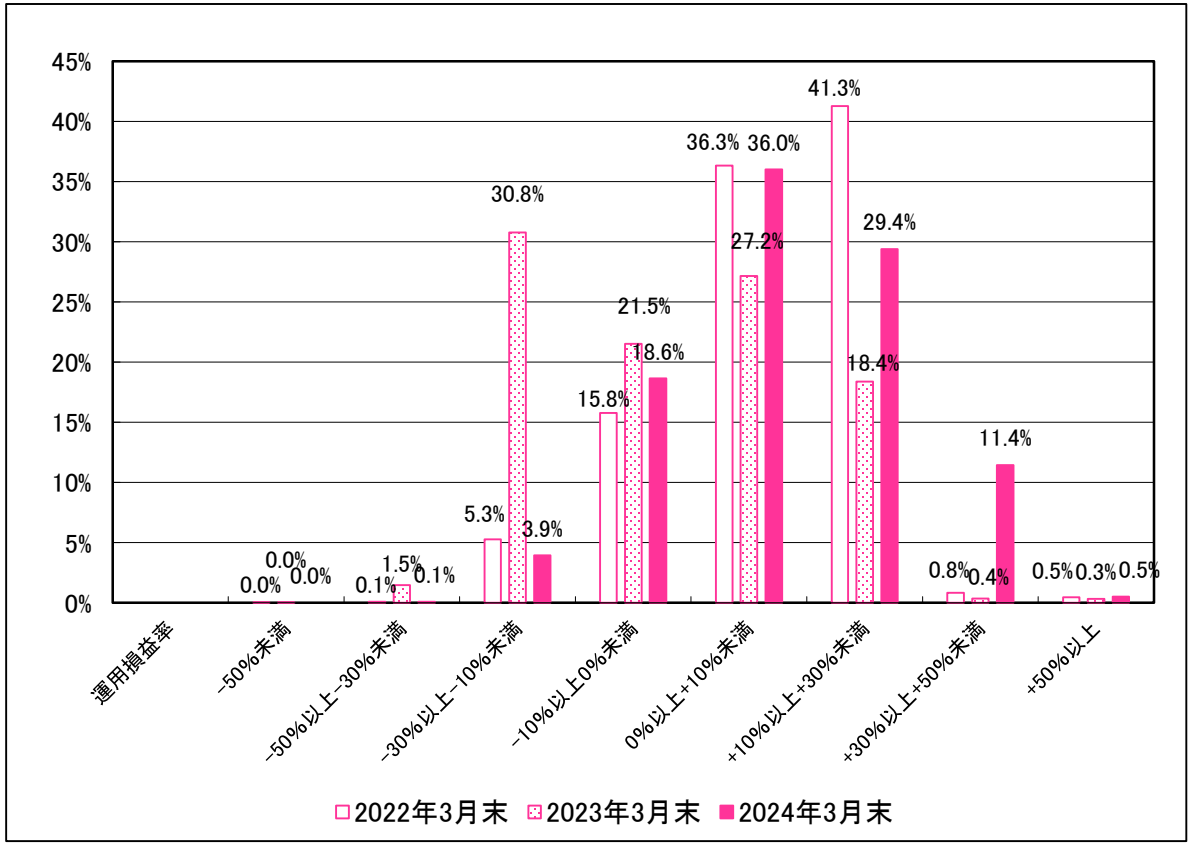
	銘柄名
1	ひふみプラス
2	GS 日本フォーカス・グロース 毎月決算コース
3	ダイワ・US－REIT・オープン（毎月決算型）Bコース（為替ヘッジなし）
4	明治安田米国中小型成長株式ファンド
5	ニッセイ豪州ハイ・インカム株式ファンド（毎月決算型）
6	東京海上・円資産バランスファンド（毎月決算型）
7	SBI中小型成長株ファンド　ジェイネクスト（年2回決算型）
8	野村インデックスファンド・米国株式配当貴族
9	インデックスファンド225
10	ロボット・テクノロジー関連株ファンド －ロボテックー
11	米国成長株式ファンド
12	ラサール・グローバルREITファンド（毎月分配型）
13	ニッセイAI関連株式ファンド（為替ヘッジなし）
14	投資のソムリエ
15	アジア・オセアニア好配当成長株オープン（毎月分配型）
16	スパークス・新・国際優良日本株ファンド
17	財産3分法ファンド（不動産・債券・株式）毎月分配型
18	女性活躍応援ファンド
19	新光J－REITオープン
20	高成長インド・中型株式ファンド

外貨建保険の販売会社における比較可能な共通ＫＰＩ　※1

（1）運用評価別顧客比率（2024年3月末）

■外貨建保険では、2024年3月末時点での運用評価がプラスのお客さまの割合は77.3%となりました。
■引き続き、お客さまの保障ニーズに対応することを主としたコンサルティング提案に努めてまいります。

●外貨建保険の運用評価別顧客比率　※2



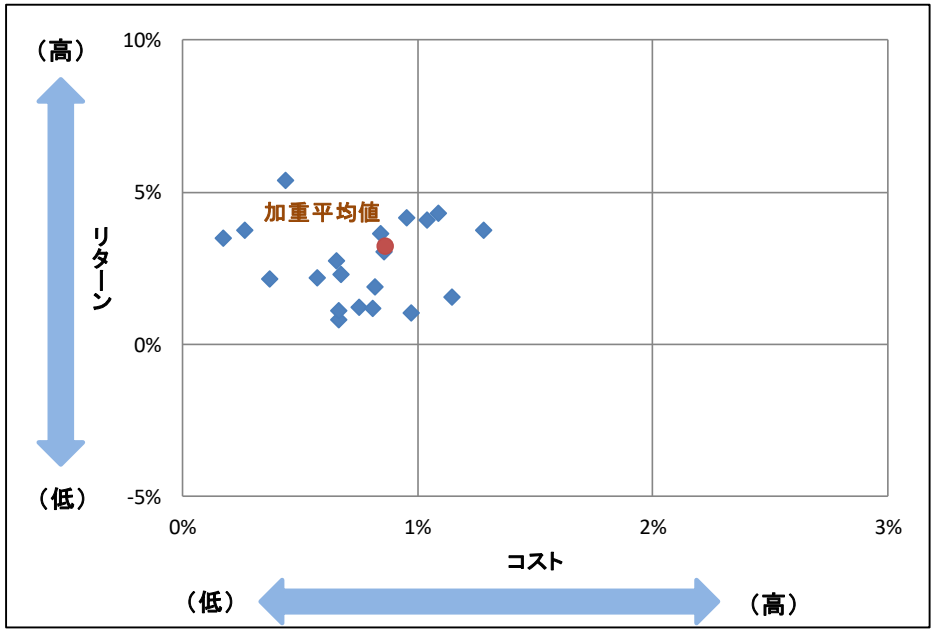
※1　本表の運用評価は解約時に支払われる解約返戻金であり、基準日時点の為替レートで円貨換算しております。
満期や死亡の際に支払われる保険金額や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります 。

※2　基準日（2024年3月末時点）に外貨建保険を保有している各顧客について、購入時以降のリターンを算出し、全顧客を100%とした場合のリターン別の顧客分布を示したものです。

$$\text{購入時以降のリターン（\%）} = \frac{\text{基準日の解約返戻金額＋基準日の既支払金額－契約時点の一時払保険料（いずれも円換算）}}{\text{契約時点の一時払保険料（円換算）}}$$

（2）外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（2024年3月末）

■外貨建保険上位20銘柄の平均コスト※1　は0.86%、平均リターン※2　は3.24%となりました。
■相続対策や介護への備え等、お客さまのライフステージにあわせた提案を実践してまいります。



加重平均値	コスト	リターン
	0.86%	3.24%

※1　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

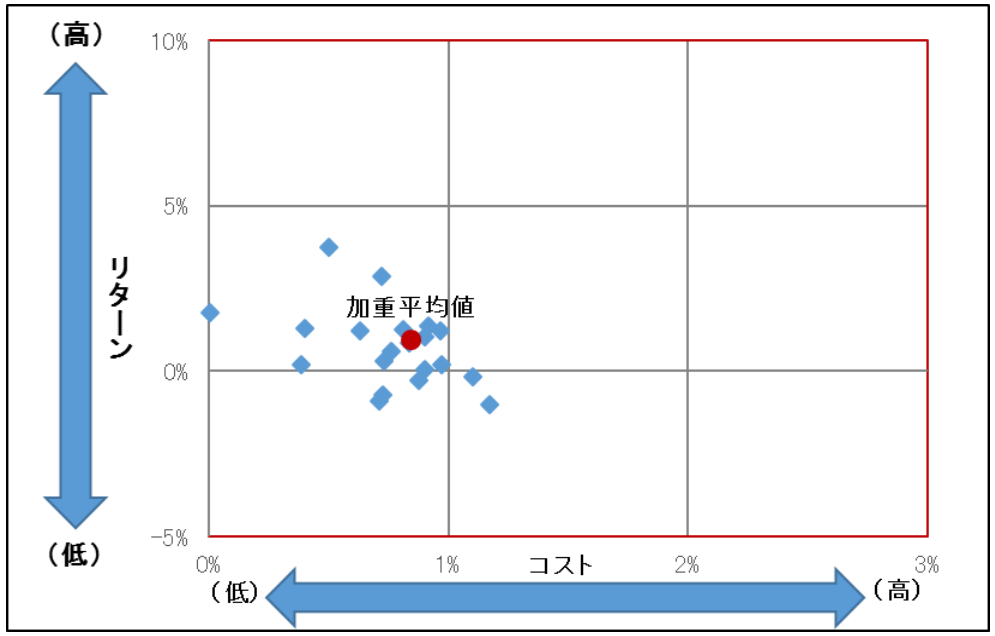
※2　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

●外貨建保険上位20銘柄

	銘柄名
1	サニーガーデンEX
2	サニーガーデン
3	しあわせ、ずっと
4	やさしさ、つなぐ
5	プレミアプレゼント
6	ビー　ウィズ　ユー　プラス
7	ライフロング・セレクトPG3
8	生涯プレミアムワールド3
9	プレミアカレンシー・プラス2
10	生涯プレミアムワールド4
11	ふるはーとJロードグローバル
12	プレミアジャンプ
13	ビーウィズユー（豪ドル建）
14	ビーウィズユー（USドル建）
15	エブリバディプラス（米ドル建）
16	えがお、ひろがる
17	エブリバディプラス（豪ドル建）
18	三大陸
19	ファイブ・ステップUS
20	しあわせ、ずっとNZ

（参考）外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（2023年3月末）

平均コスト※1　0.84%、平均リターン※2　0.94%



加重平均値	コスト	リターン
	0.84%	0.94%

※1　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

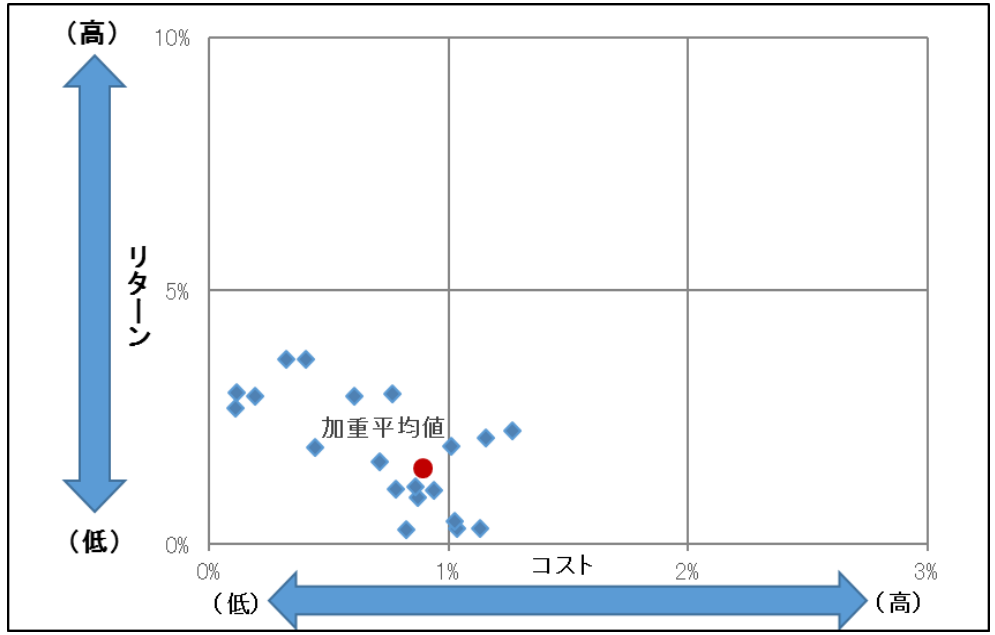
※2　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

●外貨建保険上位20銘柄

	銘柄名
1	サニーガーデンEX
2	サニーガーデン
3	しあわせ、ずっと
4	プレミアジャンプ
5	プレミアプレゼント
6	やさしさ、つなぐ
7	ライフロング・セレクトPG3
8	プレミアカレンシー・プラス2
9	ビーウィズユー（円建）
10	生涯プレミアムワールド3
11	ビーウィズユー（USドル建）
12	ビー　ウィズ　ユー　プラス
13	ビーウィズユー（豪ドル建）
14	生涯プレミアムワールド4
15	えがお、ひろがる
16	ふるはーとJロードグローバル
17	三大陸
18	エブリバディプラス（豪ドル建）
19	ファイブ・ステップUS
20	プレミアジャンプ・年金（外貨建）

（参考）外貨建保険の銘柄別コスト・リターン（2022年3月末）

平均コスト※1　0.89%、平均リターン※2　1.49%



加重平均値	コスト	リターン
	0.89%	1.49%

※1　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の新契約手数料率と継続手数料率（支払累計）の合計値を契約期間（経過月数）で年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

※2　基準日に5年以上保有している契約について、各契約の契約時点の一時払保険料に対する、基準日時点の解約返戻金額＋基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したものを、各契約の一時払保険料で加重平均したもの。

●外貨建保険上位20銘柄

	銘柄名
1	サニーガーデンEX
2	しあわせ、ずっと
3	サニーガーデン
4	プレミアジャンプ
5	ライフロング・セレクトPG3
6	生涯プレミアムワールド3
7	ビーウィズユー（USドル建）
8	やさしさ、つなぐ
9	ビーウィズユー（豪ドル建）
10	三大陸
11	ファイブ・ステップUS
12	しあわせ、ずっとNZ
13	プレミアジャンプ・年金（外貨建）
14	ビーウィズユープラス
15	シリウスハーモニー
16	プレミアカレンシー・プラス
17	アテナ
18	シリウスデュアル
19	ファイブ・ステップ　セレクト
20	シリウスプラス